

事業所における自己評価総括表(公表)

COMPASS 発達支援センター丸亀 Believe



○事業所名	COMPASS発達支援センター丸亀Believe			
○保護者評価実施期間	令和7年 9月 11日		～	令和7年 10月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数)	31
○従業者評価実施期間	令和7年 9月 11日		～	令和7年 9月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 10月 17日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	COMPASSでは全国に事業を展開しており、系列事業所との連携があります。 各担当者が会議や勉強会をおこなっており、事例検討なども含めて多様な視点からの意見を取り入れて、計画書や日々の療育に取り入れております。	各担当毎に事業部内で担当グループが形成されており、担当グループ主体での会議や勉強会が実施されています。 複数の地域に事業所があるので、不明点などは指定権者に確認をし、法令に沿った事業所運営をおこなっております。	児童が楽しみながら通ってくる事業所、成長を感じられる事業所、安心して通ってもらえる事業所を常に考えながら、決められたルールを遵守して取り組んでまいります。
2	利用者や保護者のニーズを把握した上で支援計画を立案し、療育・支援を実施しております。 モニタリング時、送迎時、家庭訪問時などさまざまな機会に、保護者様のお話を丁寧にお聞きするよう努めております。	・保護者様からのご相談やご要望については、職員間で共有し、療育や支援に活かしております。 ・送迎時には、利用状況をお伝えし、困りごたがないかお声がけしております。 特にモニタリング時には、十分に詳しくお話ができるような体制を整えております。	現在の取り組みは継続し、送迎時にお会いする機会が少ない保護者様には、電話でのご連絡も併せておこなっております。 今後も、事業所内での面談や家庭訪問を通じて直接お話ができる機会を増やせるよう、積極的にお声がけしてまいります。
3	学習支援だけでなく、季節の製作活動や集団活動を取り入れ、療育が固定化しないよう工夫しております。 また、作業療法士が在籍しており、巧緻性の向上や身体の使い方、日常生活におけるお困りごとへの支援もおこなっております。	・定期的に製作活動や集団活動を取り入れ、楽しく活動しながら、身体機能の練習や他者との関わり方を学べるようにしております。 ・活動内容や利用児童の様子については、連絡帳アプリや事業所だより、送迎時の対話などを通じて保護者様へお伝えしております。	今後も、職員間で情報を共有しながら適切な療育内容を選定してまいります。 製作活動や集団活動についても、計画的に企画・準備を行い、より充実した支援を提供できるよう努めます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設内で利用者が使用できる部屋は1つのみで、個室は設けておりません。 法令で定められた基準値以上の広さは確保しておりますが、保護者様から、広さや個室についてのご要望をいただくことがございます。	・学校の下校時刻が同時間帯に重なるため、空間の狭さやぎやかさを感じることがございます。 ・施設の構造上、ドアなどの設備を設置しにくく、完全個室化は難しい状況です。 現状では、机やパーティションを活用して空間を仕切る対応をおこなっております。 ・一方で、職員の目が届きやすいことや、段差がなく移動しやすいという利点もございます。	現在、机の配置を工夫し、療育スペースと余暇スペースを分けております。 パーティションを活用するなど環境整備を継続し、活動内容に応じて場所や利用児童の組み合わせを工夫することで、できる限り落ち着いて過ごせるよう支援してまいります。
2	放課後児童クラブや児童館との交流、事業所に地域住民を招待するなどの、地域との交流の機会が少ないという現状があります。 保護者会などの交流の場を開催できておりません。	・平日は、下校後の利用時間が限られてしまうため、交流を取り入れることは難しい状況です。 ・特に事業所外での活動については、事故防止や安全管理の観点から、計画して実行に至るまで時間がかかることが多いです。 ・保護者会については、児童を受け入れている時間帯は職員の対応が難しく、それ以外の時間で保護者様が集まる機会を設けることができておりません。	近隣の事業所同士での交流行事に参加したり、ダンス講師を派遣していただいていたイベントをおこなったり、事業所内での交流ができました。 図書館に出かけるなど、事業所外での単独の活動であれば、安全に活動を実施できているため、今後も継続してまいります。 また、利用者や保護者様のご要望を伺いながら、地域交流の場や保護者同士の交流の機会を設けることについて、前向きに検討してまいります。

